



平成29年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成28年6月28日

上場取引所 東

上場会社名 DCMホールディングス株式会社
 コード番号 3050 URL <http://www.dcm-hldgs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 久田宗弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務統括部長 (氏名) 熊谷寿人

TEL 03-5764-5214

四半期報告書提出予定日 平成28年7月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	117,413	3.9	6,944	17.1	6,466	10.8	3,723	9.0
28年2月期第1四半期	112,953	4.5	5,927	8.8	5,838	10.3	3,415	12.8

(注) 包括利益 29年2月期第1四半期 4,531百万円 (0.1%) 28年2月期第1四半期 4,534百万円 (13.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年2月期第1四半期	27.34	26.34
28年2月期第1四半期	25.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第1四半期	378,731	167,121	44.1
28年2月期	367,653	164,088	44.6

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 167,121百万円 28年2月期 164,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年2月期		10.00		11.00	21.00
29年2月期					
29年2月期(予想)		11.00		11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	231,100	4.3	12,100	2.4	11,700	1.9	7,100	4.8	52.15
通期	447,200	2.2	19,300	4.6	18,400	5.2	10,900	3.3	80.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期1Q	142,055,989 株	28年2月期	142,055,989 株
期末自己株式数	29年2月期1Q	5,899,724 株	28年2月期	5,899,630 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期1Q	136,156,339 株	28年2月期1Q	136,044,685 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報	9
商品別売上情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策、金融政策を背景に緩やかな回復基調が見られましたが、原油価格の低迷や中国をはじめとする新興国の成長鈍化による景気下振れリスクなどから、株価や為替が不安定になるなど、先行きについては不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、消費者の節約志向などにより個人消費の回復は鈍く、また業態を超えた販売競争もあり、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については8店舗、退店については3店舗を実施いたしました。これにより当第1四半期連結会計期間末日現在の店舗数は614店舗（DCMカーマ158店舗、DCMダイキ157店舗、DCMホームマック266店舗、DCMサンワ33店舗）となりました。

販売面においては、4月中旬以降前年より気温が低かった影響などもあり、園芸用品などの季節商品の販売は伸び悩みましたが、平成27年7月に子会社化したDCMサンワの連結効果などもあり、売上高は増収となりました。また、DCMブランド商品については、チラシ掲載やテレビCMなど販促強化に取り組んだ効果もあり、販売が好調に推移し、売上総利益は増益となりました。

なお、平成28年4月に発生した熊本地震により一部店舗が被災し、仮設店舗での営業を行っております。現在、通常営業に向けて復旧に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は1,174億1千3百万円（前年同期比103.9%）、営業利益は69億4千4百万円（前年同期比117.1%）、経常利益は64億6千6百万円（前年同期比110.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億2千3百万円（前年同期比109.0%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、8ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

(主要商品部門別の状況)

① 園芸・エクステリア部門

4月中旬以降、特に北海道、東北、北陸エリアにおいて低温の影響を受け園芸関連商品の販売は伸び悩みましたが、雑草対策商品やホースリールなどのDCMブランド商品については、販売が好調に推移しました。その結果、売上高は244億7百万円となりました。

② ホームインプラーブメント部門

熊本地震の影響により防災関連商品が大きく伸長いたしました。電動工具については、新商品のDCMブランドの販売が好調に推移しました。また、プロ専門店についても売上を順調に伸ばしました。その結果、売上高は217億5百万円となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

若者の車離れの影響から、車の整備・メンテナンス用品の販売が低調に推移しました。レジャー用品については、行楽需要を取り込む販促を早期に行った結果、販売は堅調に推移いたしました。その結果、売上高は177億1千7百万円となりました。

④ ハウスキーピング部門

熊本地震の影響により飲料水や非常食などが伸長いたしました。日用消耗品については販売が低調に推移いたしました。その結果、売上高は277億5千9百万円となりました。

⑤ ホームファニシング部門

取り扱いを増やした大型ソファやマット、クッション、長座布団の販売が伸長しましたが、布団をはじめとする寝具やい草などの季節商品の販売は伸び悩みました。その結果、売上高は84億4千7百万円となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

マッサージチェアなどの健康器具や電材の販売は好調に推移いたしました。エアコンなどの冷房関連商品や照明器具の販売は低迷いたしました。その結果、売上高は80億5千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、季節的要因により商品在庫及び売掛金が増加したことや、新規8店舗の出店などにより有形固定資産が増加したことなどから、資産合計は前連結会計年度末に比較して110億7千8百万円増加し、3,787億3千1百万円となりました。

負債残高は、長期借入金の返済により減少しましたが、季節的要因により買掛金は増加したことなどから、負債合計は前連結会計年度末に比較して80億4千5百万円増加し、2,116億1千万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いがありました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して30億3千3百万円増加し、1,671億2千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の連結業績予想につきましては、平成28年4月8日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,473	13,483
受取手形及び売掛金	4,633	7,274
リース投資資産	2,411	2,382
有価証券	59	59
商品	87,865	92,569
繰延税金資産	1,669	1,126
その他	5,959	6,893
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	114,073	123,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	189,651	191,621
減価償却累計額	△106,341	△107,011
建物及び構築物(純額)	83,309	84,610
土地	79,209	79,235
リース資産	13,404	13,923
減価償却累計額	△2,413	△2,561
リース資産(純額)	10,990	11,362
建設仮勘定	1,796	937
その他	31,608	32,467
減価償却累計額	△24,596	△25,153
その他(純額)	7,011	7,313
有形固定資産合計	182,318	183,459
無形固定資産		
のれん	1,668	1,599
借地権	6,300	6,302
ソフトウェア	3,439	3,605
その他	247	246
無形固定資産合計	11,656	11,754
投資その他の資産		
投資有価証券	10,467	11,301
敷金及び保証金	42,835	42,380
繰延税金資産	2,197	2,045
長期前払費用	2,943	2,877
その他	1,233	1,195
貸倒引当金	△72	△72
投資その他の資産合計	59,604	59,728
固定資産合計	253,579	254,941
資産合計	367,653	378,731

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,499	46,555
電子記録債務	—	6,900
短期借入金	35,570	37,120
1年内償還予定の社債	30	—
1年内返済予定の長期借入金	20,139	18,761
リース債務	484	498
未払法人税等	2,460	1,822
賞与引当金	2,318	1,637
役員賞与引当金	—	3
ポイント引当金	546	549
災害損失引当金	—	202
その他	11,972	13,464
流動負債合計	116,020	127,515
固定負債		
新株予約権付社債	20,000	20,000
長期借入金	43,896	39,646
リース債務	12,072	12,502
繰延税金負債	950	1,160
再評価に係る繰延税金負債	159	151
役員退職慰労引当金	70	71
退職給付に係る負債	464	470
資産除去債務	1,752	1,781
長期預り金	5,063	5,165
その他	3,114	3,145
固定負債合計	87,543	84,094
負債合計	203,564	211,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	44,276	44,276
利益剰余金	115,210	117,436
自己株式	△5,001	△5,001
株主資本合計	164,486	166,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,711	2,360
繰延ヘッジ損益	△146	4
土地再評価差額金	△1,969	△1,961
退職給付に係る調整累計額	6	6
その他の包括利益累計額合計	△397	410
純資産合計	164,088	167,121
負債純資産合計	367,653	378,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	111,422	115,851
売上原価	76,149	78,295
売上総利益	35,272	37,555
営業収入		
不動産賃貸収入	1,531	1,562
営業総利益	36,804	39,117
販売費及び一般管理費	30,876	32,173
営業利益	5,927	6,944
営業外収益		
受取利息	60	58
受取配当金	50	51
為替差益	87	—
その他	145	101
営業外収益合計	342	211
営業外費用		
支払利息	394	419
為替差損	—	248
その他	37	20
営業外費用合計	432	688
経常利益	5,838	6,466
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	257	48
減損損失	20	82
災害による損失	—	322
その他	14	64
特別損失合計	292	517
税金等調整前四半期純利益	5,545	5,949
法人税、住民税及び事業税	1,078	1,615
法人税等調整額	1,051	610
法人税等合計	2,129	2,226
四半期純利益	3,415	3,723
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,415	3,723

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)
四半期純利益	3,415	3,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,092	649
繰延ヘッジ損益	6	151
土地再評価差額金	19	7
退職給付に係る調整額	—	△0
その他の包括利益合計	1,118	808
四半期包括利益	4,534	4,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,534	4,531
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	34,689	26,584	51,444	235	112,953	—	112,953
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	13,480	13,483	△13,483	—
計	34,689	26,585	51,446	13,715	126,437	△13,483	112,953
セグメント利益	1,803	1,030	3,181	1,330	7,345	△1,418	5,927

(注) 1. その他は、DCMホールディングス㈱における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△1,418百万円には、セグメント間取引消去△1,426百万円、その他8百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	34,118	25,799	50,640	6,854	117,413	—	117,413
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	20,729	20,732	△20,732	—
計	34,118	25,800	50,642	27,583	138,145	△20,732	117,413
セグメント利益	2,010	1,392	3,372	2,654	9,430	△2,486	6,944

(注) 1. その他は、DCMホールディングス㈱及びDCMサンワ㈱における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△2,486百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成28年6月28日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社とし、株式会社くろがねやを株式交換完全子会社とする株式交換を行なうことを決議し、同日付で株式交換契約を締結いたしました。

なお、詳細につきましては、本日(平成28年6月28日)公表いたしました「DCMホールディングス株式会社による株式会社くろがねやの簡易株式交換による完全子会社化に関する株式交換契約締結のお知らせ」をご参照ください。

4. 補足情報

商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第1四半期 連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自平成27年3月1日 至平成28年2月29日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	24,352	21.9	24,407	21.1	70,230	16.3
ホームインプルーブメント	20,398	18.3	21,705	18.7	81,367	18.9
ホームレジャー・ペット	16,961	15.2	17,717	15.3	65,712	15.2
ハウスキーピング	27,934	25.1	27,759	23.9	114,072	26.4
ホームファニッシング	8,587	7.7	8,447	7.3	33,262	7.7
ホームエレクトロニクス	8,180	7.3	8,054	7.0	40,231	9.3
その他	5,006	4.5	7,758	6.7	26,706	6.2
合計	111,422	100.0	115,851	100.0	431,584	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材 住宅設備他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、 ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他